

Vol.23 No.3

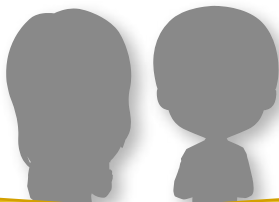
広島修道大学図書館

Library News

ライブラリーニュース

●特集

図書館で はたらく人たち



Who are they?

Contents

- 2 巻頭エッセイ
ただより高いものはない?
……塩田 弘
- 3 図書館職員リレーエッセイ(78)
18年ぶりの学会発表と
図書館資料の価値
……日原 容
- 4 特集
図書館ではたらく人たち
- 6 短期連載第2回
あなたの知らない図書館の世界
—レファレンス業務編—
- 7 Library Information
ビブリオバトル/
学内ブックハンティングのお知らせ 他
- 8 こんな本がやってきました(No.39)
『イザベラ・バードの旅の世界:
ツイン・タイム・トラベル』



ただより高いものはない？

人文学部教授 塩田 弘



「ただより高いものはない」という諺（ことわざ）は、「ただで物をもらうと、お礼に金がかかったり頼みを聞かなくてはならなかったりで、結局は高いものにつくということ」（『広辞苑』）という意味で、普通は悪い意味で使うのが常です。うまい話には裏があるのは世の常なのです。しかし、無料で使えて様々な情報やサービスを得ることが出来る図書館については、その諺が通用しない数少ない例外の一つと言って間違いないでしょう。大学の図書館はもちろんのこと、地元の図書館や旅先の図書館でも、お金に換えることが出来ない情報や体験を得ることができます。図書館では本や雑誌を読むだけでなく、パソコンを使った情報検索や、CDやDVDを利用したり、司書の人に専門的な情報を教えてもらったり、読みたい本をリクエストして図書館の蔵書に加えてもらうことも可能なのです。

図書館では、本当にただで本がもらえることがあります。「ご自由にお持ち帰りください」という張り紙があれば、そこにある本をもらっても良いのです。図書館の入り口の近くにある場合が多く、図書館の所蔵が重複した場合や、何らかの事情で処分する本が利用者に無料で提供されるのです。雑誌のバックナンバーが置いてあることが多いのですが、注意して見ていると思いがけない掘り出し物がある場合があります。そこには絶版になって入手できない貴重な本や、年代物の趣のある本などが並んでいることもあるので、私はどこの図書館に行っても、「ご自由にお持ち帰りください」という張り紙がないかいつもチェックしています。

昨年、アメリカのアイダホ大学に長期滞在する機会に恵まれましたが、その大学の教育学部の図書室でも思いがけない体験をしました。なんと、図書室の受付の人から「ここにある本で気に入った物があればどれでも持って帰って良いよ」と言われたのです。教育学部の校舎の建て替えに伴い、図書室

の本をまとめて「ご自由にお持ち帰りください」ということになったのです。その図書室は、高校までの義務教育の教科書を中心に、教育学部の学生に必要な本を集めた図書室で、教科書と副教材、指導書はすべて揃っていました。

アメリカの教科書は、一冊がまるで百科事典のような分量です。例えば11年生（日本の高校2年生）が使う「文学」の教科書は、アメリカ文学を体系的に学ぶ内容になっていて、一冊が1500ページもあります。他の教科も同様に、大きくて重量があります。教科書はそれぞれの生徒に「貸与」する形式で、一年間使った後に学校に返却し、その学校で八年間使い続ける方式です。日本のように、教科書を全て勉強するのではなく、必要なところを先生が取り上げて授業をしたり、百科事典のように必要な情報を探したりして使うようです。重たいので、生徒は教科書を持ち帰らず、教室のロッカーに置いたままのことが多いようです。内容が充実し、参考になることが多く書かれていたので、たくさんの教科書や副教材をもらった結果、段ボール二箱分にもなり、日本への郵送費は二万円もかかりました。アメリカからの郵送方法として、安い船便が廃止されたので、高い航空便で郵送するしかなかったのです。「ただより高いものはない」結果になりましたが、いずれも貴重な情報が満載なので重宝しています。

図書館には様々な利用法がありますが、利用するか否かは本人次第です。学生の皆さんには自由に使える図書館を有効に利用されることをお勧めします。

（シオタ ヒロシ 人文学部教授）



18年ぶりの学会発表と 図書館資料の価値

日原 容

昨年12月27日に経営学の恩師三戸公先生（本年94歳）から三度目の電話がありました。内容は学会へ復帰して「経験から科学へ」及び「対立から協働へ」の二本柱からなる経営学の主流の立場に立って、これまでの実務経験を科学としてまとめ、研究発表をしてはどうかと勧められました。

工業経営研究学会と労務理論学会を10年前に退会し、学会発表も最後の発表から18年が経過した今、とても先生の期待に沿えるような発表はできないと辞退の意を申し続けていましたが、三度目のお電話では、とうとう発表の覚悟をいたしました。

即座に先生が勧められる経営行動研究学会へ入会し、5月には九州支部会で発表し、8月には全国大会で発表してきました。

先生の指導の下、九州支部会での発表論題は「人事考課制度における個人と組織」、第25回全国大会の発表論題は「組織の意思決定と人事考課制度—社会的有機体としての組織観の必要性—」でした。

論文作成・発表のために参考とした図書、雑誌資料は120冊を超えました。なぜかという、自分の著述していることが、新しいインテリジェンス（intelligence）なのかどうか、著述していることに矛盾がないかどうか調べる必要があったからです。

私は2年半前に初めて図書館に配属され、わずかと雑誌担当1年、洋雑誌担当2年目ですが、この3年目でインフォメーション（information）をインテリジェン

スにできる最高の場所にいることを実感しました。

ご存知のように、日本語では「情報」は、インフォメーションとインテリジェンスの区別があまり認識されていません。でも、両者の間には大きな差があります。竹林滋編集代表『研究社 新英和大辞典』（研究社、2002年）のそれぞれの最初の説明では、前者は「知らせること、知らされること、通知、通報；（情報・知識の）伝達」とあり、後者は「理知、知性、知力、思考力」とあります。また、北岡元『インテリジェンスの歴史』（慶應義塾大学出版会、2006年）では、「初めに絶えず変化を続ける現実があるのだが、それを写真や録音、筆記など様々な形で写し取ったものがインフォメーション」、インテリジェンスはカスタマーが要求する「判断・行動するために必要な知識」と記述されています。

したがって、上記のことを踏まえて考えると、図書館資料は、インフォメーションであり、これらをカスタマー（自分自身の場合もある。）の目的に照らして、判断・行動するための知識がインテリジェンスということになると思います。

そのインテリジェンスとしての私の研究論文が、関係分野の他のインフォメーションやインテリジェンスと照らして、是認できるかどうかの判断過程が最も大変でした。

この度の研究論題は「人間とは何か」、「組織とは何か」、「意思決定とは何か」が基底にあったために、これらに関係のある哲学、法哲学、法解釈学、心理学、医学、神経科学、分子生物学、経営学、

経済学、社会学、教育学、遺伝子学、進化学、体育学、宗教などを広範囲に見る必要がありました。

そのなかでも、非常に役立った想定外の雑誌は、最先端の科学雑誌「NATURE」のJapanese Contentsでした。この雑誌は、「人間とは何か」を主に自然科学の立場でインフォメーションを与えてくれました。

なぜ、このようなエッセイを書いているかと言うと、世界最先端の調査・研究機関では、図書館等の資料を集めることが基本中の基本であることを知り、実感したので、それを読者の皆様に伝えたかったからです。

世の中に役立つ経営学に関する論文発表を恩師から求められ、そのための情報を収集し、情報を整理、区分、分析、統合をし、それを確認することは大変苦しい過程でしたが、でも「実に面白い」ことでした。

大学の先生たちは、この道のプロです。

ぜひ、尊敬する先生を求め、その人格交流の中で、インテリジェンス創造の道を学びとってほしいと思います。まさに図書館資料の価値はそれを支援することなのです。

（ヒハラ ヤスシ 情報管理係）



ある日の『Library News』
編集会議…



次号の
特集は何に
しようか？

『Library News』アンケートより
皆さんからいただいたご意見
(一部)

- あまり知られていない図書館の情報が知りたい。
- 図書館を身近に感じられる内容がよいのでは？
- 職員のおすすめ本を教えてください！

よしっ！

私たちが
図書館を
紹介しよう！



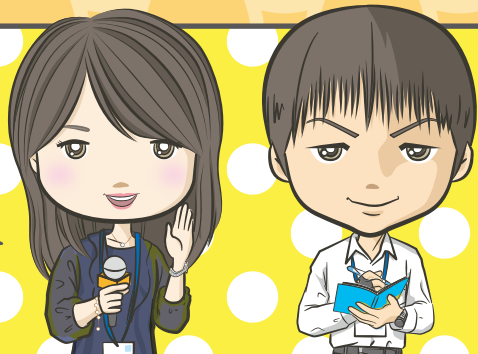
特集

知ってた？

図書館で はたらく人たち

図書館のサービスは様々な職員のはたらきによって成り立っています。
図書館にはどんな人たちがいて、どんな仕事をしているのでしょうか？
図書館を支える人たちを紹介します！

こんにちは、
図書館職員の
佐々木と門脇です！
今回は私たち2人で
図書館職員の皆さんに
インタビューして
いきます！



インタビューの内容

- 名前
- 主な担当業務
- おすすめの1冊
- おすすめのポイントについて、教えてください！

まずは資料の受入から！

図書館には、毎日たくさんの図書や雑誌が納品されます。まずはそれらの資料を受入し、皆さんに貸出できるように準備しています。



- 山中 良子 (やまなか りょうこ)
- 図書の受入・整理、紀要の受入、選書
- 佐々木 圭一 著
『伝え方が9割』ダイヤモンド社 2013

所在：3階一般図書
請求記号：361.45 / Sa 75

皆さんは、相手に何かをお願いしたい時、伝えたい時、どうしたらうまく伝えられるだろうと悩んだことはありませんか？コピライターとして活躍している著者の言葉は説得力があり、「なるほど」と思うものばかりです。相手に伝える力を磨きたい人には、是非手にしていただきたい一冊です。



- 濱田 珠希 (はまだ たまき)
- 図書の装備、カウンター業務、『Library News』編集
- 川端 康成 著／
E・G・サイデンステクター英訳
『美しい日本の私：その序説』
講談社 1969

所在：3階新書・文庫
請求記号：080 / K
請求記号現代新書180

1968年に著者、川端康成がノーベル文学賞を受賞した際の記念講演をまとめたものです。日本の四季、雪月花、茶道、花道、和歌などに秘められた美しい世界。その中には美しさとともに思いやり、やさしい人の心が映し出されていることに、はっと気付かされます。



受入された図書や雑誌は…

受入された資料は所定の場所に配架します。図書を展示する場合は、皆さんの読書意欲をかき立てられるような展示テーマ・装飾を考えています。



- 長屋 由美子 (ながや ゆみこ)
- 展示コーナー企画、カウンター業務、
パスファインダー編集
- 津田 晃代 著
『最後のストライク：
津田恒美と生きた2年3か月』
幻冬舎 1998

所在：3階一般図書
請求記号：783.7 / Ts 34



「弱気は最大の敵」と自らを励まし病と闘った、元広島東洋カープの津田恒美投手の奥様が書かれた本です。何かに夢中になり、日々を必死に生きることがとても大変なことですが、この本が、目標や未来に向けての後押しとなればと思います。



- 松本 要 (まつもと かなめ)
- 雑誌の配架、製本、統計・調査
回答
- 和田 誠、村上 春樹 著
『ポートレイト・イン・ジャズ』
新潮社 2004

所在：3階一般図書
請求記号：764.7 / W 12



ジャズは分からない。という人にオススメしたい一冊。ジャズほどミュージシャンの性格や生き方が演奏に反映される音楽はないと思います。作家、村上春樹氏がジャズメンを軽妙に語ってくれます。和田誠氏のイラストも面白い。

資料の管理以外にも、図書館サービス・イベントを運営するために様々な業務を行っています。

他にこんな業務も！



- 安田 幸子 (やすだ ゆきこ)
- レファレンス、文献検索ガイダンス、
蔵書点検
- 内田 樹 著
『街場のメディア論』光文社 2010

所在：3階一般図書
請求記号：361.45 / U 14



新聞やテレビの報道を鵜呑みにするな、などという単純な内容ではありません。深くメディアの本質を突いています。この「街場」シリーズは、大学での実際の講義が土台にされているので、学生の皆さんにこそ読んでほしいです。

門脇メモ 3
カウンターのぬいぐるみ(?) 雑誌購入のおまけでもう一つぬいぐるみが置いてある。



- 渡辺 文子 (わたなべ ふみこ)
- 修基礎講座、ビブリオバトル
運営、『QUEST』編集
- 銀色 夏生 著
『丘をバラ色に染めながら
：自選詩集』角川書店 2003

所在：3階一般図書
請求記号：911.56 / G46



学生時代、どうしてもなく落ち込んでいた時に会った、銀色夏生さんの詩。暗く沈む気持ちにそっと寄り添い、前を向かせてくれました。親しい人と喧嘩した、失恋から立ち直れない、頑張り過ぎて少し疲れた…そんな方がいたら、一読をお薦めします。



- 門脇 直哉 (かどわき なおや)
- サーバ・HP管理、レファレンス、ILL
- J. M. ケラー 著／鈴木 克明 訳
『学習意欲をデザインする
：ARCSモデルによる
インストラクショナルデザイン』
北大路書房 2010

所在：3階一般図書
請求記号：371.4 / Ke 32



学習意欲はどうすれば高められるのでしょうか？本書では、長年にわたり議論・研究されてきたこのテーマに対する一つの答えが示されています。少々難解ですが、主体的な学びの支援が求められる今、知っておきたい内容です。



- 佐々木 菜々 (ささき なな)
- ブックハンティング運営、和雑誌の受入、
図書館ピア・サポーター対応
- サリンジャー 著／野崎 孝 訳
『フラニーとゾーイー』新潮社 1991

所在：3階一般図書
請求記号：933 / Sa 53



若者の心の葛藤と成長を描いた作品です。「エゴ」だらけの世の中に辟易し自分の殻に閉じこもるフラニーに共感できる人も多いはず。自分にとって受け入れ難い状況をどうとらえて生きていくのがよいのか、物語を通して考えてみてください。

図書館ではたらく人たちについて、知っていた
ただでしょうか？

図書館では、総勢19名の職員が利用者の皆
さまへより良いサービスを提供するために働い
ています。

図書館の利用に関して何か困ったときには、
お気軽に図書館の職員に声をかけてください！



この2人も
また登場
するかも？
お楽しみに！

門脇メモ 1
購入した図書や雑誌の情報をデータベースに登録し、カバーやラベルなどの装飾を整える作業。

あなたの知らない図書館の世界

…レファレンス業務編…



図書館2階カウンター後方に、便利なサービスカウンターが2席あるのはご存知ですか。例えば、「探している文献資料が本学に所蔵されていない…。レポート（卒業論文）を書くために使いたかったのに…。どうしよう。」そんな皆さんの悩みを解決するのがレファレンスサービスです。第2回では、レファレンス業務をご紹介します。

その1

文献複写・相互貸借

依頼： 本学に所蔵のない資料（論文の一部）や図書でも、所蔵している他大学図書館に依頼して必要な資料の複写を取り寄せたり、図書の貸し出しをお願いしたりしています。

※郵送料は自己負担です。到着に一週間ほどかかります。

受付： 依頼とは逆に、他大学図書館から探している資料や図書が本学図書館に所蔵してあるので取り寄せしたいという依頼を受けた場合、必要な資料の複写や図書の貸し出しを行っています。

外国とのやりとりも行っています!!

国内での入手が不可能な資料については、海外の所蔵館から複写を取り寄せたり、図書現物を借用したりすることが可能です。所要日数は、依頼機関によって異なります。

その3

マイクロ資料・リーダー

図書館では、書籍や新聞などを記録保存用に縮小した、マイクロフィルム・フィッシュと呼ばれる資料を所蔵しています。このマイクロ資料を見るには、拡大装置が必要です!それがマイクロリーダー。必要な記事を拡大し、印刷することができます。使用するには、レファレンスカウンターで手続きを!!

※印刷代が必要です。



フィルム・フィッシュ



マイクロリーダー

その2

新聞記事検索

中国新聞をはじめ、地方紙の記事を検索・閲覧したい方は、ぜひレファレンスカウンターへ。職員が代行し、記事の検索を行っています。

調べたい記事のある方は、お気軽にお申込みください。※地方紙検索のデータベースは図書館ホームページ上にある全国紙のデータベースとは異なり、カウンターでのみ利用が可能です。



知っていますか?

図書館 必須アイテム!

簡易製本機

ホットメルトと呼ばれる製本用の糊を高温で溶かし、本を表紙でくみ接着させる機械です。本学では、雑誌の汚れや劣化を防ぐためにバックナンバーの雑誌は、一部簡易製本しています。



製本機



ホットメルト

ホットメルト挿入



機械を動かし、糊付け



糊を接着させ折り曲げて本の形に



完成状態

レファレンスカウンターで答えられる質問

●資料の調べ方 ●OPACの使い方 ●データベースの利用について ●参考図書の使い方、見方について など相談に応じています。

Library Information

info
1

～言葉できくから読みたくなる～

大学生ビブリオバトル バトラー&観戦者募集中

10月22日(木) 12:30から「全国大学ビブリオバトル 2015 ～首都決戦～」の学内予選大会が協創館まなびホールで開催されます。

本の内容をバトラーと呼ばれる紹介者が5分間話します。その話を聞き会場の観戦者は「読んでみたくなった本」に投票し、チャンプ本を決めます。どんな本が紹介されるのでしょうか?観戦は自由にできますので、気軽にお越しください。全てのバトラーの紹介を聞くと、チャンプ本を選ぶ投票権を得られます。

※バトラーで参加するには申込みが必要です。



info
2

高校生ビブリオバトルが開催されました

7月19日(日) 全国高等学校ビブリオバトル2015広島県大会が図書館と3号館にて行われました。11校の中からチャンプ本に選ばれたのは、『Freedom』(高橋歩著、A-Works)。呉工業高等専門学校3年生の宮里昂成(ミヤサトコウセイ)さんが紹介しました。宮里さんは、1月に東京で行われる決勝大会へ進みます。



請求記号: 914.6 Ta33
所 在: 3階一般図書

info
3

12月開催! 学内Book Huntingのお知らせ

年に2回、学内と学外の書店で行われているブックハンティング。自分で図書館に入れる本を選べます。本屋さんが出張し修大図書館に出現!当日、学生証・教職員証があれば参加できます。受付を済ませ、好きな本をお選びください。



info
4

卒論貸出について 3&4年生応援します!!

卒論を書く時や、じっくり読みたい時に2週間では短すぎる、と思っていた3、4年生の皆さん! 書庫の本は「卒論貸出をお願いします」の一声で2週間→1カ月の貸出にぐ〜んと、伸ばせます。もちろん、冊数制限ナシ!!

info
5

折り鶴を捧げてきました

展示コーナーでは「Peace begins with a smile 平和は微笑から始まります〜 Mother Teresa 〜」をテーマに平和について考える展示を行っていました。展示期間中(5月30日〜8月20日)は平和について考えながら鶴を折ってもらうコーナーを設置しました。1羽だった鶴は少しずつ集まり102羽になり、皆さんの平和への祈りとともに8月19日「原爆の子の像」へ捧げてきました。

鶴を折ってくださった皆さん、ありがとうございました。



info
6

2階展示コーナーを入替えます

10月1日(木)から「時間列車の旅 Time travel 〜あなたの知らない時代を旅してみませんか?〜」をテーマに新しい展示図書に入替えます。思い出したり、発見したり、時間を行き来して楽しんでください。

こんな本が
やってきました

No.39

『イザベラ・バードの旅の世界：ツイン・タイム・トラベル』

金坂清則著 平凡社



請求記号：290.9/Ka46
所 在：3階一般図書

19世紀後半、50年にわたり世界中を旅し膨大な旅行記を著わしたイギリスの女性旅行家イザベラ・バード。本書はそんな彼女に魅せられた著者が、実際に彼女の旅の世界に足を運び、その旅と旅行記の魅力を伝える写真集です。

病弱のイザベラが医師の勧めにより静養の目的でアメリカとカナダにでかけたのがすべての始まり。それから海外の旅は70歳直前まで続き、旅の世界は南アメリカを除く5大陸（日本も含む）に及びます。彼女の旅と旅行記は、鉄道、馬車や蒸気船などに乗って風景を楽しむだけの旅とは違い、異境の地、非日常の世界を旅し、人々の中に入り込み、目にするものの特徴や本質を、研ぎ澄まされた感性と知性でもって一瞬にして捉え、率直な思いも込めて鮮やかに描き出し、その対象が自然や人間・社会・文化のあらゆるものに及ぶという特質をもっていました。それらを正確に理解して翻訳し、文化の媒介者としての役割を果たすにはそこに足を運びフィールドワークを重ねることが不可欠であると考えた著者は「ツイン・タイム・トラベル」（過去の旅行記に描かれた旅を、私たちの旅に取り込み、2つの旅の時空を主体的に重ね合わせる旅）という新しい旅の形を私たちに伝えています。本書を通じて、時空を越えた豊かな旅を体験してみませんか？

※日本では1973年に高梨健吉訳『日本奥地紀行』が出て以後、明治に北海道を旅した人として知られ、近年ではテレビ・雑誌・新聞にも登場し、過去に日本を旅した外国人女性としては最も著名な人と言われています。

（本文より一部引用）

開館カレンダー

2015 10 OCTOBER							2015 11 NOVEMBER							2015 12 DECEMBER						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3*	1	2*	3	4	5	6	7*			1	2	3	4	5*
4	5	6	7	8	9	10*	8	9	10	11	12	13	14*	6	7	8	9	10	11	12*
11	12	13	14	15	16	17*	15	16	17	18	19	20	21*	13	14	15	16	17	18	19*
18	19	20	21	22	23	24*	22	23	24	25	26	27	28*	20	21	22	23	24*	25*	26
25	26	27	28	29	30	31*	29	30						27	28*	29	30	31		

*講義のある期間は、日曜日も開館します。

休館日 (自由閲覧室利用不可)	休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 21:30)	休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 19:00)
--------------------	--------------------------------	--------------------------------

●開館時間

開館時間 8:45 ~ 21:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30	開館時間 9:15 ~ 16:30 自由閲覧室 ☆8:45 ~ 19:00 自由閲覧室 ★8:45 ~ 21:30	開館時間 10:00 ~ 16:00 自由閲覧室 10:00 ~ 16:00
開館時間 9:15 ~ 12:30 自由閲覧室 8:45 ~ 19:00	開館時間 9:15 ~ 17:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30	開館時間 10:00 ~ 17:00 自由閲覧室 10:00 ~ 19:00

●休館日

夏季・冬季・春季休暇中の日曜日・「国民の祝日に関する法律」に規定する休日（海の日・成人の日を除く）
開学記念日（11月4日）・年末年始（12月29日～1月3日）・整理休館日・入試期間中

※「国民の祝日」のうち、授業日は開館します。

※開館時間・閉館時間の変更や臨時休館日については、その都度、HPが掲示でお知らせします。



ここから図書館のホームページへ
アクセスできます

発行・編集：広島修道大学図書館

■発行日：2015年10月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1

Tel: 082-830-1112 Fax: 082-830-1964

URL: <http://www-lib.shudo-u.ac.jp>

E-mail: toshio@js.shudo-u.ac.jp

次号は
2016年1月1日
発行予定
です

返却期限の過ぎている
図書はありませんか？

忘れないうちに、
窓口がブックポストまで…。